

令和4年度事業報告

()内は前年度

公益目的事業 1 ～長寿科学研究等支援事業～

長寿科学に携わる研究者に対して、その研究費等を支援する事業

(1) 長寿科学研究者支援事業

146,471 千円
(46,980 千円)

1. 令和4年度「指定課題研究」、「長生きを喜べる長寿社会実現研究支援」

令和4年度は「指定課題研究」に1件、「長生きを喜べる長寿社会実現研究支援」に2件に助成を行った。
合計助成 68,886 千円

1-① 令和4年度 「指定課題研究」採択者

No	研究者	所属機関	研究課題	期間	助成額
1	新飯田俊平	国立長寿医療研究センター 研究推進基盤センター長	認知症におけるデータベース構築手法の研究	指定課題 R3-R5 3年計画 2年目	継続 28,885,682

・継続審査会（令和5年2月3日）次年度への継続を承認

【指定課題審査評価小委員会 委員】

委員長 井口 昭久 愛知淑徳大学健康医療科学部 教授

副委員長 荒井 啓行 東北大学加齢医学研究所 教授

長谷川 敏彦 (一社) 未来医療研究機構 代表理事

1-② 令和4年度 「長生きを喜べる長寿社会実現研究支援」採択者

No	研究者	所属機関	研究課題	期間	助成額
1	三浦 久幸	国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部長	アドバンス・ケア・プランニング推進のための共通 ICTプラットフォーム構築—どこで療養していても本人意思が尊重される社会作り	探索研究 R4-R5 2年計画 1年目	新規 10,000,000
2	檜山 敦	一橋大学 ソーシャル・データサイエンス教育研究推進センター 教授	貢献寿命延伸への挑戦！ ～高齢者が活躍するスマートコミュニティの社会実装～	実装研究 R4-R6 3年計画 1年目	新規 30,000,000

・中間報告会（令和4年10月17日）2件の研究の進捗状況を確認

・継続審査会（令和5年2月24日）2件の研究の次年度への継続を承認

【審査評価委員会 委員】

委員長 駒村 康平 慶應義塾大学経済学部 教授
副委員長 飯島 勝矢 東京大学高齢社会総合研究機構 機構長
秋下 雅弘 東京大学大学院医学系研究科 教授
阿久津 靖子 (一社) 日本次世代型先進高齢社会研究機構 代表理事
翁 百合 (株) 日本総合研究所 理事長
鎌田 実 (一財) 日本自動車研究所 代表理事
近藤 克則 千葉大学予防医学センター 教授
長谷川 友紀 東邦大学医学部 教授

2. 令和5年度「長生きを喜べる長寿社会実現研究支援」の新規採択

令和5年度から開始する「長生きを喜べる長寿社会実現研究支援」の公募を行い、50 件の応募から 1 件を採択した。

【主課題】 長生きを喜べる長寿社会の実現～生きがいのある高齢者を増やす～
(キーワード)

- ①高齢者の QOL・生きがい・健康・活力のエンパワメント
- ②弱っても安心して生き生き過ごせるまちづくり
- ③認知機能が低下しても個人の尊厳を尊重した普段の生活における様々な意思決定支援
- ④高齢者にやさしいテクノロジー・デジタル技術の開発・実装

令和5年度 「長生きを喜べる長寿社会実現研究支援」採択者

No	研究者	所属機関	研究課題	期間	初年度 助成予定額
1	斎藤 民	国立長寿医療 研究センター 老年社会科学 研究部長	ユニバーサル・フレンド リ・ファシリティが認知症 の人と地域住民の社会参加 向上とスティグマ軽減、ウ ェルビーイング向上にもた らす効果検証	探索研究 R5-R6 2年計画	10,000,000

- ・ 書面審査 (令和4年8月12日～9月9日)
- ・ 1次審査会 (令和4年10月3日) 応募 50 件⇒6 件
- ・ 2次審査会 (令和4年10月24日) プレゼンテーション、質疑応答、6 件⇒1 件
- ・ 最終審査会 (令和4年11月25日) プレゼンテーション、質疑応答、1 件採択

【審査評価委員会 委員】 上記に同じ

3. 令和5年度「高齢社会課題解決研究および社会実装活動への助成」

Google.orgからの寄附事業

助成期間:令和5年3月～令和6年12月まで1年10か月間

令和5年度 「高齢社会課題解決研究および社会実装活動への助成」採択者

No	研究者	所属機関	研究課題	期間	助成予定額
1	島田 裕之	国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学 科学研究センター長	高齢者のスマートフォン利用促進を介したアクティブライフ・コミュニティの形成	2年計画 1年目	1年目 27,248,000 2年目 22,750,000 総額 49,998,000
2	瀧 靖之	東北大学加齢医学研究所 教授	“学び合い”プログラムを用いたデジタルスキルラーニング・エコシステムの開発と実装～多世代型互助によるスマート・インクルージョンの実現～	2年計画 1年目	1年目 17,750,450 2年目 32,249,550 総額 50,000,000
3	村山 洋史	東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健チーム 副部長	「ジョブボラ」の創出とデジタルマッチングの実装に向けた研究：誰もが活躍できる社会を目指して	2年計画 1年目	1年目 25,000,000 2年目 25,000,000 総額 50,000,000
1年目 (69,998,450円) 2年目 (79,999,550円) 総額 (149,998,000円)					

- ・書面審査 (令和4年12月12日～12月25日) 応募19件
- ・1次審査会 (令和5年1月12日) ⇒5件
- ・最終審査会 (令和5年1月26日) プレゼンテーション、質疑応答を経て ⇒3件採択
- ・プロジェクト始動発表会 (令和5年3月23日) 採択者の紹介と発表、交流会

【高齢社会課題解決研究審査評価委員会 委員】

委員長 荒井 秀典 国立長寿医療研究センター 理事長
副委員長 葛谷 雅文 名鉄病院 病院長
大高 洋平 藤田医科大学医学部 主任教授
篠崎 尚史 国立長寿医療研究センター 理事長特任補佐
鈴木 みずえ 浜松医科大学医学部 教授

(2) 長寿科学関連国際学会派遣事業
令和4年度の事業は休止した。

0 千円
(0 千円)

(3) 若手研究者表彰事業
令和4年度の事業は休止した。

0 千円
(0 千円)

公益目的事業 2 ～情報提供事業～

長寿科学研究の成果や健康長寿に関する情報を広く国民に提供する事業

(1) 業績集の発行 0 千円
(0 千円)

令和4年度の事業は休止した。





(2) 機関誌の発行 14,660 千円
(15,263 千円)

健康長寿情報や長寿科学研究成果を分かり易く広報するために、令和 3 年度より当財団ホームページにて WEB 版機関誌「Aging & Health (エイジングアンドヘルス)」として PDF 版を年に 4 回(春・夏・秋・冬)発信する。また、この機関誌 PDF からアンケートとメルマガ会員を効果的に勧誘する経路や仕組みを模索している。

- ・第 1 回広報委員会 (令和 4 年 10 月 13 日) 令和 5 年度 機関誌 企画・編集
- ・第 2 回広報委員会 (令和 5 年 2 月 17 日) 今後の財団の広報について検討

【広報委員会 委員】

委員長	柳澤 信夫	(一財) 全日本労働福祉協会	会長
副委員長	鳥羽 研二	東京都健康長寿医療センター	理事長
	飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構	機構長
	飯野 奈津子	医療福祉ジャーナリスト	
	井藤 英喜	東京都健康長寿医療センター	名誉理事長
	櫻井 孝	国立長寿医療研究センター	研究所長
	佐藤 眞一	大阪大学	名誉教授

号数	公開日 PDF 閲覧数	流入経路	実施事項
 101(春)	R4/4/15 2,324	検索エンジン 61.0% メールマガジン 36.6% リンク 2.5%	・身体に障害を持つ方でも、だれでも見やすいアクセシブル PDF を作成し HP に公開 ・流入経路を増やすため、地域の鼓動の取材時に動画を撮影、編集したものを財団 YouTube チャンネルで公開
 102(夏)	R4/7/8 2,154	メールマガジン 63.1% 検索エンジン 26.3% リンク 2.7%	・地域の鼓動、インタビューの取材風景を YouTube チャンネルで公開 ・全ページにアンケート協力のお願いを掲載
 103(秋)	R4/10/14 1,927	検索エンジン 53.0% メールマガジン 38.3%	・地域の鼓動を YouTube チャンネルで公開
 104(冬)	R5/1/13 964	メールマガジン 53.0% 検索エンジン 29.4%	・地域の鼓動、インタビューの取材風景を YouTube チャンネルで公開 ・財団ホームページにて、PDF の他にそれぞれの記事を WEB ページでも公開 (バックナンバーも順次公開)

(3) 健康長寿ネット

5,791 千円
(5,659 千円)

本財団のホームページ「健康長寿ネット(<https://www.tyojyu.or.jp/net/>)」により、老化予防や健康づくり、疾病、介護予防など、健康長寿に関する情報を広く国民に提供している。また、財団とコアなファンと双方向につながり情報提供のあり方の下地づくりを行っている。

※健康長寿ネットへは QR コードからアクセスください。



1. 掲載内容と記事数 ※各項目の目次ページ(index.html)も含む

項目	内容	記事数*
健康長寿とは	「高齢者の食事摂取基準」「運動器の老化」「日本人はなぜ長生きか」「高齢者の生きがい」など 自分でできる健康長寿のための情報を紹介	413
高齢者の病気	「サルコペニアとは」「フレイルとは」「老年症候群」「認知症」「肺炎」など 高齢者に多い病気・症状をわかりやすく解説	474
高齢者を支える制度とサービス	「認知症高齢者の日常生活自立度」「地域包括支援センター」「地域密着型サービス」など 介護保険制度や利用できるサービスなどを紹介	174
対談・特集・研究情報	財団機関誌「Aging & Health」から対談・特集・研究情報を転載掲載および事務局企画による特集記事を掲載	415
エッセイ	井口昭久先生のエッセイ「老いをみるまなざし」、宮子あずさ先生「訪問看護師から老いをみると」他、財団機関誌「Aging & Health」からエッセイを転載	204
インタビュー	財団機関誌「Aging & Health」から「いつも元気、いまも現役」を転載	32
介護予防のための生活機能チェック	介護保険法による「基本チェックリスト」に基づく、介護予防のための生活機能チェック(25 問)をインターネット上で提供	39
合計		1,751

2. メールマガジンの配信

利用者の長寿科学の情報に対する需要の把握と、利用者^と財団との**双方向の対話の仕組み作り**の一環として定期的なメールマガジンの配信を令和 2 年 7 月から開始した。

メールマガジン配信の内容

健康長寿ネットの更新情報、長寿科学研究者支援事業公募情報、財団主催のイベントのお知らせ、財団発行の刊行物(機関誌等)のお知らせ、日々に役立つ健康情報(おすすすめコンテンツ)、ご寄付のお願い など。

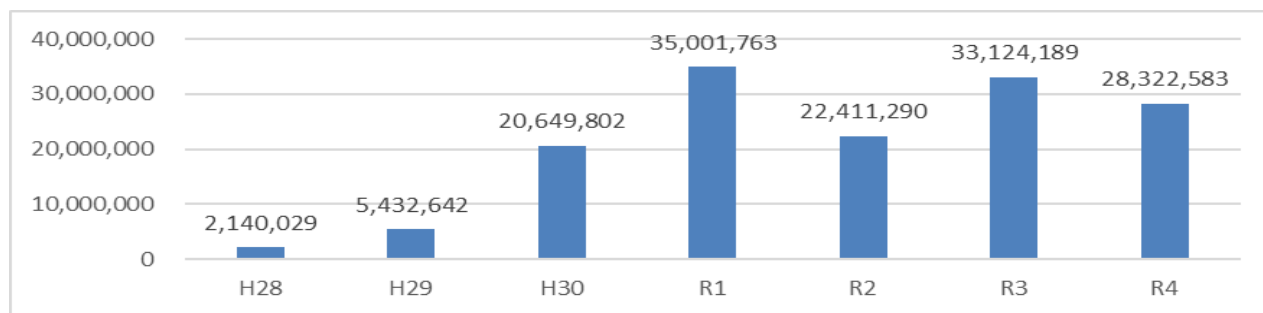
メールマガジン登録者の概況

登録者数(累計):13,831 人(令和 5 年 3 月末時点)

無職	2,747	19.9%
会社員・役員	2,364	17.1%
医療従事者	1,827	13.2%
主婦・主夫	1,590	11.5%
自営業・自由業	1,410	10.2%
パート・アルバイト	955	6.9%
その他	911	6.6%
介護施設職員	789	5.7%
公務員	319	2.3%
大学・研究機関研究者	319	2.3%
団体職員	265	1.9%
派遣職員	142	1.0%
学生	92	0.7%
メディア関係	53	0.4%
不明	48	0.3%
合計(登録累計)	13,831	

3. 健康長寿ネット事業 アクセス件数

(1) アクセス数推移



(2) アクセス内容

項目	アクセス数 (訪問者数)	閲覧頁数 (ページビュー数)	1 訪問あたり 閲覧頁数	平均閲覧時間 (分)	直帰率	新規アクセ ス率
R4	28,322,583	35,708,937	1.26	0:57	87.14%	86.08%
R3	33,216,222	42,600,400	1.28	1:01	86.42%	85.40%
前年比	85.3%	83.8%	98.4%	93.4%	0.7%	0.7%

(3) 訪問者属性（年齢別・性別・閲覧環境）

A) 年齢

年齢	18-24	25-34	35-44	45-54	55-64	65～
R4 割合 (%)	17.02%	24.37%	25.76%	16.12%	8.84%	7.90%
R3 割合 (%)	16.31%	24.26%	24.90%	16.45%	10.04%	8.04%
前年比	0.71	0.11	0.86	-0.34	-1.20	-0.14

B) 性別

性別	男性	女性
R4 割合 (%)	48.6%	51.4%
R3 割合 (%)	44.1%	55.9%
前年比	4.50	-4.50

C) 閲覧端末

端末	モバイル	デスクトップ	タブレット
R4 割合 (%)	72.89%	24.67%	2.44%
R3 割合 (%)	74.20%	23.10%	2.70%
前年比	-1.31	1.57	-0.26

(4) アクセスランキング（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

順位	タイトル	閲覧数
1	貧血予防に良い食事・食べ物・調理方法とは	858,100
2	カリウムの働きと1日の摂取量	678,307
3	ビタミンDの働きと1日の摂取量	619,301
4	亜鉛の働きと1日の摂取量	616,411
5	マグネシウムの働きと1日の摂取量	429,475
6	水は1日どれくらい飲めば良いか	409,864
7	ビタミンCの働きと1日の摂取量	393,029
8	ビタミンEの働きと1日の摂取量	337,141
9	心拍数と運動強度	327,505
10	カルシウムの働きと1日の摂取量	323,368

4. 健康長寿ネットの著作物等の引用転載(令和4年4月1日～令和5年3月31日)
健康長寿ネットからの利用申請件数:57件(令和3年度:57件、令和2年度:54件)

授業目的公衆送信補償金制度※における著作物利用件数:10件
※授業目的公衆送信保証制度(2018年5月著作権法改正)
制度詳細についてはQRコードからアクセスください。



5. 長寿科学振興財団 YouTube チャンネルについて

令和3年度より長寿科学振興財団 YouTube チャンネルを開設しています。今までに、第32回日本老年学会総会において開催された市民公開講座の様様や、WEB版機関誌エイジングアンドヘルス「ルポ地域の鼓動」や「インタビュー いつも元気、いまも現役」での取材の様子など、機関誌ではお伝えしきれなかったことや、取材中の雰囲気などを動画でご紹介しています。

長寿科学振興財団 YouTube チャンネル

公開動画数:32

総再生回数:47,840回

総再生時間:3450時間

チャンネル登録者数:694人

※財団 YouTube チャンネルはQRコードからアクセスください



(4) 長寿たすけ愛講演会開催事業

令和4年度の事業は休止した。

0千円
(2,024千円)

(5) 長寿科学研究普及事業

4,001千円
(3,037千円)

国立長寿医療研究センターとの連携により、毎年テーマを決め、長寿科学研究に関するシンポジウムを開催している。今年度は「認知症予防のための多因子介入」をテーマに対面とオンラインのハイブリッド型にて開催した。

【第17回長寿医療研究センター 国際シンポジウム】

開催日時:令和4年12月3日(土)

開催方法:対面(あいち健康プラザ プラザホール)

オンライン(YouTube等にてライブ配信)

テーマ:「認知症予防のための多因子介入」

開催助成金:4,000千円

参加人数:会場60名、ライブ配信による

オンライン視聴者308名(延べ人数)

The poster is for the 17th International Symposium on Geriatrics and Gerontology (ISGG), held on Saturday, December 3rd, 2022, from 10:00 to 18:00. The theme is "Multifactorial Interventions for Prevention of Dementia" (「認知症予防のための多因子介入」). The event is a hybrid of in-person and online. The poster features a central illustration of a man in a white shirt and a woman in a green dress dancing. The ISGG logo is prominent, with "17th" in a red circle. The poster lists three sessions: Session I: Interaction between the brain and peripheral organs; Session II: Prospects for social implementation of multifactorial interventions for dementia prevention; and Session III: Population and individual approaches to dementia prevention. It also mentions a Lunch Seminar in Japanese and a hybrid format for the event.

事業報告の附属明細書

記載すべき事項なし